

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141

19年12月9日

11月26日(火) 3回目の学習会を開催、10名が参加しました。

前半は『民商・全商連運動の基本方向』の読み合わせ。「民商・全商連運動の展望と方向」の中小業者の要求実現めざす運動の展望、一人ひとりの要求実現の運動を発展させるを読み進めました。

後半は『消費税』。本則課税の申告書の書き方を手計算で実際に体験してみました。今回は第1表に加え第2表もあり、付表は1-1、1-2、2-1、2-2とかなりの枚数です。本則課税は「売上時にもらえる消費税—仕入・経費で払う消費税額—納税する消費税額」まず9月までの売上・仕入の8%をさらに国税と地方税に分けて計算。10月以降は売上・仕入を10%と8%に分けてから、それぞれ国税と地方税に分けて計算。付表だけでも途方もなく時間がかかりました。

こんなに複雑な事務負担を、なぜ業者が負わなければいけないのかと憤りを感じます。

婦人・青年合同学習会 開催



消費税率の区分

	2014年4月から	2019年10月以降	
		標準税率	軽減税率
消費税率	6.30%	7.80%	6.24%
地方消費税	1.70%	2.20%	1.76%
合計	8.00%	10.00%	8.00%

税金・確定申告セミナー

日時 12月12日(木)

昼の部 午後2時~4時

夜の部 午後7時~9時

会場 新潟民商会館 4F

持参するもの

自主計算パンフレット

日程

- 12月10日(火) 共済会三役会
- 12月12日(木) 青年部会
- 12月13日(金) 婦人部三役会

十二・三集会向け仲間を増やそう!

1日(日) ANAクラウンプラザホテルを会場に「いのちと健康を守る学習交流会」が開催され、県内の民商から60名の参加がありました。中村理事長より「国民に増税を押し付ける安倍政権は許せない」とあいさつ。引き続き、「食と健康 食べ物が劣化する日本」と題して安田節子さんより講演がありました。日本の食の安全が後退した背景として、安全規制の緩和、多国籍アグリビジネスの存在があること。遺伝子組み換え第二世代といわれるゲノム編集食品が開発され、禁止や規制をしている国がある中、安部総理は「ゲノム編集技術を成長戦略のど真ん中に位置づけ、大胆な政策を迅速かつ確実に実行に移してください」と日本は緩和の方向へ。農業が人へのホルモンに悪影響を与えています。有機農業で作られた作物を摂取すると体内の農薬を減らすことができ、有機農産物を学校給食に取り入れている国があること。日本は多国籍アグリビジネスのグローバル戦略に左右されない食料、エネルギーの自給圏を作り上げ、有機農業立国を目指しましょうと安田さんは訴えました。各民商の活動について、阿賀野は役員、婦人部が中心となつて大腸がん検診に取り組み受診者が減らなかつたこと。村上は、まわりに民商のことを語り、事業を承継した人が入会したこと。十日町は、複数で行動を組み、元会員、元読者、新規開業を対象に訪問し、仲間が増えたことなど報告がありました。

新商連の青木事務局長より、消費税が増税されてから小売販売額の落ち込みなど状況は深刻で、営業を直撃している。高すぎて払えない国保は値下げや換価の猶予の申請の運動に取り組む。「右手に署名、左手に商工新聞」外に向けて行動すれば成果がある。さらに消費税学習の開催などの集まりを12・22集会に向け増勢を目指そうと報告と訴えがありました。

懇親会が開かれ、華やかな踊りと歌とギター演奏が披露され、交流を深めました。

意欲的に支部集會を開催!

女池支部

十月十六日、「大谷寿し」(本名さん)に於いて、阿部さん〇を報告者に迎え、婦人部員九名参加で、母親大会報告会が昼食を交えて行なわれ、簡単な自己紹介から始まり、阿部さん(阿部工業)の報告を聞き、大会の感動を自分たち業者婦人としての役割に重ね合わせ共感し合っていました。また、十一月二十九日には、「スナックやすらぎ」(小柳さん)を会場に、支部共済会学習会が開催されました。島田支部長(島田クリーニング店)、関根共済理事(協和家電)の呼びかけに九名が参加し、最初に和合婦人部長から「班支部活動の手引き」を用いて活動の方向性を話し合い、その後、民商共済会の制度を中心に関根さんから説明され、共済加入の必要性、重要性が伝えられました。続いて島田支部長が加わりQ&Aを使い制度の詳細を確認し合っていました。

引き続き懇親会に移り、女池支部らしいアットホームで暖かな雰囲気、皆さん楽しんでいました。このような繋がりを広めようと、地域での会外訪問活動も話題になっていました。

松浜支部・共済会学習会 開催

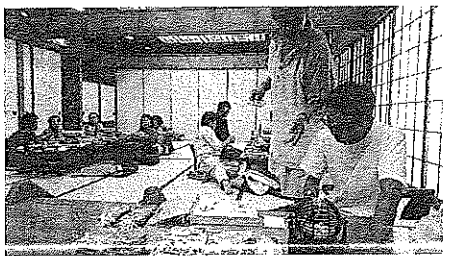
12月1日(日)松浜支部で共済会学習会がホンマ健康ランドを会場に開催され、13名が参加しました。

「民商共済会の制度」を使い、共済の仕組みや給付金の請求手続きの仕方などを学習しました。

共済会学習会の後は班・支部活動の学習会へと移り「班・支部活動の手引き」を読み合わせて、松浜支部が班を再編成した事や他支部で開催されている班会の様子の紹介などが行われました。

参加した青年部役員の中村浩さんは「周りに困っている若手業者がいたら民商を紹介してほしい」支部役員の本名正喜さんは「困っている業者は大勢いる。そういう業者がいたら民商に相談するよう、声をかけてほしい」と会員拡大を訴えました。

学習会が終わると懇親会へと移り、今回はホンマ健康ランド商品券や母親大会物資が当たる「ビンゴ大会」も開催され親睦を深めました。



大腸がん検診 結果配布はじまる

11月に実施された大腸がん検診ですが、検査施設より結果が届きました。事務局より、各支部の共済係の役員に渡され、ぼちぼちお手元に結果が届いている頃だと思えます。

検査結果を確認しよう

結果通知がマイナス(一)の方は陰性ですので今回再検査は必要ありません。逆にプラス(十)の方は陽性となりますので再検査が必要となります。

再検査費用の助成について

今年46名の方に陽性が出ています。共済会に加入している会員で、3カ月以内に再検査された方には、民商共済から5千円が支給され、さらに新潟民商共済会から上限5千円(実費分)の助成が受けられます。あわせて上限1万円の助成が受けられます。

健康あつての商売です。各支部で声を掛けあい、陽性の人は必ず再検査を受けるようにしましょう。

内野支部母親大会報告会

11月18日(月)内野支部で母親大会報告会を開催し、5名が参加しました。報告者のあやひめ美容室の長谷川さんから「ザ・思いやりII」と言う映画を観て「この映画の監督バクレーさんはアメリカ人でありながらも日本の思いやり予算について独自調査をし、日本人の私でさえ知らないことを教えてくれました。日本人を守ると思われていた思いやり予算は米軍の駐留経費を国民が負担していると言う事実には大変驚かされたし、憤りを感じた」などと報告が行われました。参加者からは「是非この映画を観てみたい」など色々な意見が出されました。その後も日常の話から商売の話まで時間が経つのも忘れるほど盛り上がり、懇親を深めました。

